

平成26年度当初予算(案)の概要

平成26年2月



目 次

1. 平成26年度当初予算(案)の概要	
1. 当初予算(案)の特徴	1
2. 当初予算(案)の規模	2
2. 歳入・歳出の内訳(一般会計)	
歳入予算の内訳	3
歳出予算[性質別]の内訳	4
歳出予算[目的別]の内訳	5
3. 行財政改革の推進	
行政サービス棚卸し(事業仕分け)	6
市債残高の推移	7
4. 平成26年度当初予算(案)における主要施策・事業	
「住みやすさ」	
①笑顔があふれる中心市街地の創出と人にやさしい都市交通網の構築	8
②人と自然が共生する持続可能な都市の構築	11
③知・徳・体の調和のとれた自立する子どもの育成	16
④女性が輝き、安心して子育てできるまちづくり	17
⑤医療の強みをいかしたまちづくり	18
⑥ともに支え合う健康・福祉のまちづくり	19
⑦歴史と文化が薫る誇りと一体感の持てるまちづくり	21
「力強さ」	
⑧活力とにぎわいのある国内外に開かれたまちづくり	22
「安全・安心」	
⑨災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり	25
⑩パートナーシップによる持続可能な都市づくり	27
5. 「社会保障と税の一体改革」の影響	28
6. 平成26年度当初予算(案)における市長重点査定一覧	29
参 考	
一般会計歳入・歳出	30
特別会計・事業会計	31
予算性質別経費	32
基金及び地方債現在高の状況	33

※数値については、四捨五入を原則とし、端数調整を行っています。

1. 平成26年度当初予算(案)の概要

1. 当初予算(案)の特徴

平成26年度当初予算(案)は、

今秋開催の「ESDに関するユネスコ世界会議」の成功に向け、国内外からの参加者へのおもてなしの強化を図り、岡山市の歴史・文化・自然・食等の魅力を体感していただくとともに、多様な主体が連携したコミュニティレベルでのESD活動を「岡山ESDモデル」として発信していきます。

また、岡山駅前では、西日本最大級の大型商業施設の開業が予定されており、これを岡山市の発展につなげるため、「回遊性の向上」と「魅力づくり」をキーワードに、笑顔あふれる中心市街地の創出に向けた取組を推進してまいります。

そのほか持続可能で活力ある都市づくりのため、「住みやすさ」「力強さ」「安全・安心」の3つの視点を大切に、女性が輝き、子どもたちの笑顔あふれるまちづくり、強みをいかした医療と福祉が充実したまちづくり、誇りと一体感の持てる歴史と文化が薫るまちづくり、活力と賑わいのある国内外に開かれたまちづくり、災害に強い安全・安心なまちづくりなど、市民生活を守るとともに、岡山への誇りと愛着を育む取組に重点を置いて編成しております。

2. 当初予算(案)の規模

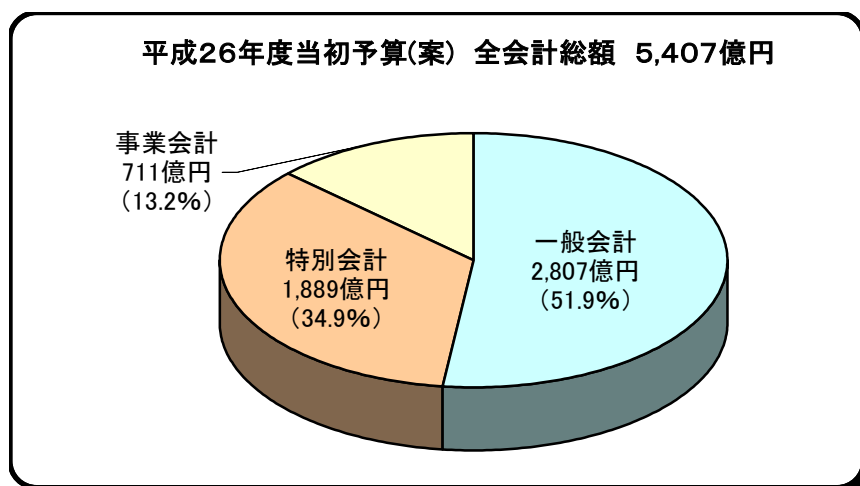
- 一般会計、特別会計、事業会計を合わせた総額は5,407億円
(対前年度比135億円、2.6%の増)
- 一般会計は、昨年度を106億円上回る過去最高額、
2年連続の増加

(単位:百万円)

区 分	平成26年度 当初予算(案)	平成25年度 当 初 予 算	増 減 額	対前年度比
一 般 会 計	280,727	270,130	10,597	3.9%
特 別 会 計	188,880	173,091	15,789	9.1%
事 業 会 計	71,121	84,037	△12,916	△15.4%
合 計	540,728	527,258	13,470	2.6%

(注1) 特別会計は、岡山市立市民病院・岡山市立せのお病院が地方独立行政法人に移行するため債務を「地方独立行政法人移行準備病院事業会計」から「岡山市立総合医療センター病院事業債特別会計」を設置し、引き継ぐことにより127億円の増加。

(注2) 事業会計は、地方独立行政法人への移行に伴う「地方独立行政法人移行準備病院会計」の廃止により189億円の減少。



過去5年間の一般会計当初予算額の推移

(単位:百万円)

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
当初予算額	241,355	255,484	255,266	270,130	280,727
対前年度増減額	13,151	14,129	△218	14,864	10,597
対前年度増減率	5.8%	5.9%	△0.1%	5.8%	3.9%

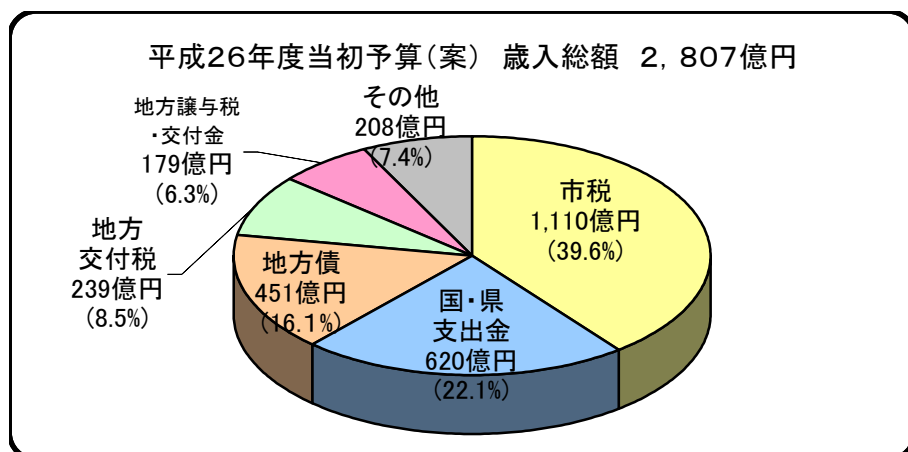
2. 歳入・歳出予算の内訳(一般会計)

歳入予算の内訳

- 市税は、景気の持ち直しによる個人市民税、法人市民税の増加などにより
対前年度比で25億円の増(+2.3%)
 - 地方譲与税・交付金は、地方消費税率の引上げに伴う地方消費税交付金の増加
などにより同10億円の増(+5.8%)
 - 臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は税収等の増などにより
同30億円の減(△6.1%)
 - 国・県支出金は、消費税増税に伴う臨時給付金給付事業や岡山西部総合公園(仮称)
事業などにより同58億円の増(+10.4%)
 - 市債は、耐震化事業の推進、岡山西部総合公園(仮称)事業などにより
同64億円の増(+16.6%)
- 【その他の項目】
- 財政調整基金繰入金は、重点施策の推進などにより同2億円の増(+5.1%)
 - 公共施設等整備基金繰入金は、市有建築物の耐震化や老朽化施設等の
再整備などにより同10億円の増(+100.0%)

(単位:百万円)

区 分	平成26年度	構成比	平成25年度	構成比	増 減 額	対前年度比
市 税	111,034	39.6%	108,575	40.2%	2,459	2.3%
地方譲与税・交付金	17,870	6.3%	16,885	6.2%	985	5.8%
地方交付税	23,900	8.5%	28,900	10.7%	△ 5,000	△17.3%
国・県支出金	62,004	22.1%	56,158	20.8%	5,846	10.4%
市 債	45,108	16.1%	38,694	14.3%	6,414	16.6%
うち臨時財政対策債	22,000	7.8%	20,000	7.4%	2,000	10.0%
小 計	259,916	92.6%	249,212	92.2%	10,704	4.3%
そ の 他	20,811	7.4%	20,918	7.8%	△ 107	△0.5%
合 計	280,727	100.0%	270,130	100.0%	10,597	3.9%



歳出予算〔性質別〕の内訳

【増要因】

- 普通建設事業費は、市有建築物の耐震化、老朽化施設の再整備や
岡山西部総合公園(仮称)の整備などにより対前年度比で128億円の増(+38.7%)
- 扶助費は、消費税増税に伴う臨時給付金給付事業や障害福祉サービスの
利用の増加などにより同32億円の増(+4.5%)
- 物件費は、情報システムの整備経費の増加などにより同16億円の増(+5.3%)
- 繰出金は、保険医療特別会計への繰出金の増加により同8億円の増(+3.4%)

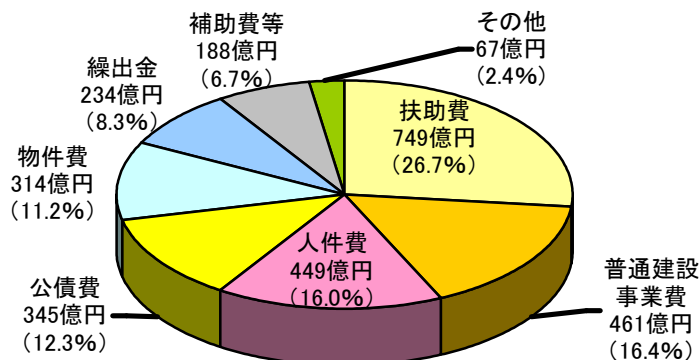
【減要因】

- 補助費等は、病院事業の地方独立行政法人への移行に伴う準備経費の減少
などにより同61億円の減(△24.6%)
- 公債費は、市債の借入れ抑制などにより同12億円の減(△3.4%)
- 人件費は、退職手当の調整率の減などにより同11億円の減(△2.4%)

(単位:百万円)

区 分		平成26年度	構成比	平成25年度	構成比	増 減 額	対前年度比
義 務 的 経 費	人件費	44,923	16.0%	46,029	17.0%	△ 1,106	△2.4%
	扶助費	74,932	26.7%	71,724	26.6%	3,208	4.5%
	公債費	34,543	12.3%	35,748	13.2%	△ 1,205	△3.4%
	小 計	154,398	55.0%	153,501	56.8%	897	0.6%
投 資 的 経 費	普通建設事業費	46,059	16.4%	33,216	12.3%	12,843	38.7%
	災害復旧事業費	—	0.0%	—	0.0%	0	—
	小 計	46,059	16.4%	33,216	12.3%	12,843	38.7%
そ の 他 の 経 費	物件費	31,399	11.2%	29,807	11.0%	1,592	5.3%
	補助費等	18,747	6.7%	24,850	9.2%	△ 6,103	△24.6%
	繰出金	23,445	8.3%	22,678	8.4%	767	3.4%
	その他	6,679	2.4%	6,078	2.3%	601	9.9%
	小 計	80,270	28.6%	83,413	30.9%	△ 3,143	△3.8%
合 計		280,727	100.0%	270,130	100.0%	10,597	3.9%

平成26年度当初予算(案) 歳出総額 2,807億円



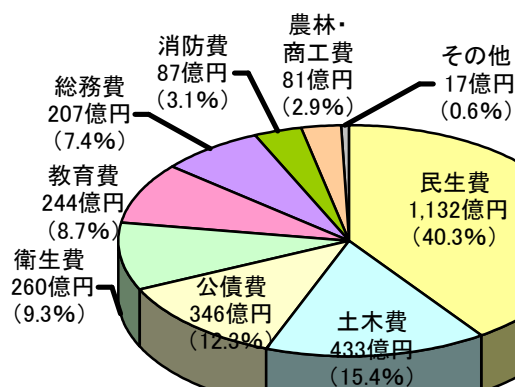
歳出予算〔目的別〕の内訳

- 民生費は、
 - ・消費税増税に伴う臨時給付金給付事業や老人福祉施設整備助成費の増加、
 - ・保険医療特別会計に対する繰出金の増加
 などにより対前年度比で53億円の増(+4.9%)
- 土木費は、
 - ・岡山西部総合公園(仮称)の整備などにより同64億円の増(+17.5%)
- 公債費は、
 - ・市債の借入れ抑制などにより同12億円の減(△3.4%)
- 衛生費は、
 - ・病院事業の地方独立行政法人への移行に伴う準備経費の減少などにより
 同36億円の減(△12.3%)
- 教育費は、
 - ・学校園の耐震化の推進などにより同38億円の増(+18.4%)

(単位:百万円)

款別	平成26年度	構成比	平成25年度	構成比	増減額	対前年度比
民生費	113,250	40.3%	107,924	40.0%	5,326	4.9%
土木費	43,306	15.4%	36,865	13.6%	6,441	17.5%
公債費	34,580	12.3%	35,785	13.2%	△1,205	△3.4%
衛生費	26,026	9.3%	29,667	11.0%	△3,641	△12.3%
教育費	24,381	8.7%	20,589	7.6%	3,792	18.4%
総務費	20,735	7.4%	21,939	8.1%	△1,204	△5.5%
消防費	8,715	3.1%	7,590	2.8%	1,125	14.8%
農林水産業費	6,091	2.2%	6,390	2.4%	△299	△4.7%
商工費	1,965	0.7%	1,654	0.6%	311	18.8%
その他	1,678	0.6%	1,727	0.7%	△49	△2.8%
合計	280,727	100.0%	270,130	100.0%	10,597	3.9%

平成26年度当初予算(案) 歳出総額 2,807億円



3. 行財政改革の推進

行政サービス棚卸し(事業仕分け)

- 平成26年度当初予算(案)では、約23億円の財政効果を反映(事業費ベース)

「新岡山市行財政改革大綱(新・短期計画編)」に基づき、行政サービス棚卸しを実施
これによる事務事業の見直し、民間活力の積極的活用、人件費の見直し、経費の節減
等の取組によって、平成26年度当初予算(案)では、約23億円(事業費ベース)の財政効果
を反映

見直した主な事業

● 事務事業の見直し(494百万円)

- ・下水道事業会計の公債費の縮減(325)
- ・土地改良事業交付金の縮減(142)
- ・市場事業会計補助金の見直し(19)など

● 民間活力の積極的活用(21百万円)

- ・学校給食の民間委託の推進(9)
- ・駐車場・駐輪場指定管理者の更新に伴う見直し(9)など

● 経費節減等の財政効果(1,495百万円)

- ・公債費の縮減(1,205)
- ・不用額の見直し(290)
(決算不用額や実績を勘案して見直し)

● 増収施策の取組(19百万円)

- ・未利用地の売却(11)
- ・売電に係る入札の導入(5)
- ・広報媒体の有効活用(2)など

● 定員及び人事管理の適正化等(317百万円)

- ・職員数の削減(169)
(平成26年4月1日で22人削減予定)
- ・退職手当の見直し(148)

財政効果額

約23億円

(事業費ベース)

市債残高の推移

■ 市債残高は、防災・減災事業の推進などにより増加傾向

元利償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた通常債は、政令市移行後200億円を目安に借入れを抑制。

時限的に有利な起債(合併特例・推進債)を活用し、市民の安全・安心なくらしを守るため平成26年度当初予算では200億円を超過。

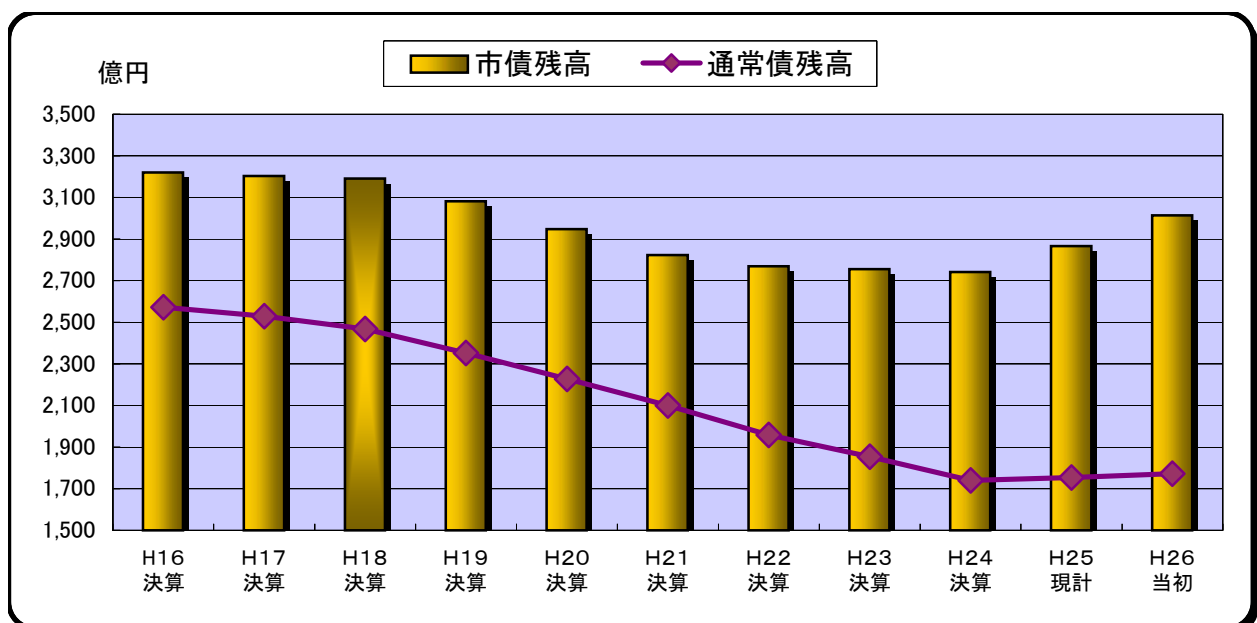
(単位:百万円)

区 分	H22 決 算	H23 決 算	H24 決 算	H25 現 計				H26 当 初	増 減 額 H26-H25
				当 初	繰 越	補 正	現 計		
元金償還金	(24,525)	(23,621)	(23,027)	(21,937)			(21,937)	(21,204)	(△ 733)
	32,740	32,331	32,461	31,389			31,389	30,316	△ 1,073
借 入 額	(10,418)	(13,128)	(11,625)	(18,694)	(2,447)	(2,239)	(23,380)	(23,108)	(△ 272)
	27,040	30,937	31,062	38,694	2,970	2,239	43,903	45,108	1,205
年度末残高	(195,871)	(185,378)	(173,976)	(170,733)	(2,447)	(2,239)	(175,419)	(177,323)	(1,904)
	276,945	275,551	274,152	281,457	2,970	2,239	286,666	301,458	14,792

(注1) ()内は、減税補てん債、臨時財政対策債等の元利償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた通常債

(注2) 元金償還額は、満期一括償還地方債の償還財源に充てるため市債調整基金に積み立てた額を含み、基金から繰入れて満期一括償還した額は除く

(注3) 平成25年度現計は、平成26年度への繰越額等を含む現計予算額



4. 平成26年度当初予算(案)における主要施策・事業

住みやすさ

① 笑顔があふれる中心市街地の創出と人にやさしい都市交通網の構築

H26予算額()書きは一般財源

● 笑顔があふれる中心市街地の創出

8億52百万円(4億49百万円)

今秋の大型商業施設の開業による集客効果が、まちなか全体に波及するよう「回遊性の向上」と「魅力づくり」をキーワードにしたパッケージ施策を展開します。

■ まちなかをめぐろう 新規 1億52百万円(1億52百万円)

- ・県庁通りぶらり歩き(県庁通りまち歩き社会実験事業) 45百万円(45百万円)
県庁通りの一部について車道を2車線から1車線に制限し、オープンカフェ等の演出もあわせた社会実験を行い、にぎわい創出の効果を検証します。
- ・西川緑道公園筋フリーウオーク(西川緑道公園筋フリーウオーク社会実験事業)
33百万円(33百万円)
西川緑道公園筋の一部について車両を通行止めにする社会実験を行い、にぎわい創出の効果を検証します。
- ・西川魅力にぎわいづくり(西川魅力にぎわい創出事業) 40百万円(40百万円)
市民協働の西川パフォーマー事業等を行ない、西川緑道公園の魅力さをさらに高め、にぎわいの創出を図ります。
- ・歩きやすいまちなか案内表示(歩行者案内看板の設置・更新) 27百万円(27百万円)
市内中心部の歩行者案内看板をより分かりやすく設置・更新します。(設置: 13箇所、更新: 63箇所)
- ・まちなか回遊アプリ(まちなか回遊アプリ開発事業) 7百万円(7百万円)
中心市街地で岡山市の歴史文化の由来を知ることのできるスポットなど、まち歩きの魅力を高める情報を提供するスマートフォン用のアプリケーションを制作します。

■ 自転車・公共交通に乗ろう 3億57百万円(1億61百万円)

- ・「ももちゃり」の拡充(自転車先進都市おかやま事業) 拡充
78百万円(49百万円)(10ページ参照)
- ・駅前広場への路面電車乗り入れ調査・検討 18百万円(8百万円) 新規
回遊性の向上を図るため、路面電車の岡山駅東口広場への乗入れの実現性について調査・検討します。
- ・自転車の走りやすい空間づくり(自転車先進都市おかやま事業)
2億61百万円(1億4百万円)(10ページ参照)

■ **魅力あふれる商店街** 27百万円(27百万円)

- ・商店街のやる気のあと押し(商店街活性化支援事業) 新規
商店街が主体的に行う活性化計画の作成を支援するとともに、計画に沿った出店等に対して助成し商店街の活性化を図ります。

■ **岡山の歴史や文化に触れる** 85百万円(85百万円)

- ・城下町魅力めぐり(歴史まちづくり回遊社会実験事業) 20百万円(20百万円) 新規
岡山城、旧内山下小学校跡地等を中心に公共空間、公共施設等の活用による新しい魅力創出につながる社会実験を行い、回遊性向上の効果を検証します。
- ・お城とお庭のタイアップ(岡山城・岡山後楽園・出石周辺の魅力アップ事業) 39百万円(39百万円) 拡充
県と連携した推進組織を立ち上げ、四季を通じた岡山城・岡山後楽園の魅力アップを図ります。
- ・岡山の歴史・文化に親しむ(岡山の歴史・文化に親しむ事業) 10百万円(10百万円) 新規
旧城下町エリアに埋もれている歴史・文化資産を掘り起こすとともに、現地を紹介する案内板等の短期整備計画を策定し、市民や観光客が、歩いて楽しいまちづくりを行います。
- ・まちなか回遊ツアー(岡山城下町エリアを舞台としたまち歩き企画事業) 9百万円(9百万円) 新規
岡山城下町エリアの歴史とまちの魅力を感じるまち歩き企画を行います。
- ・市民会館のあり方検討(新岡山市民会館等整備事業) 7百万円(7百万円)(21頁参照)

■ **まちなかに住む** 2億31百万円(24百万円)

市街地再開発事業や高齢者向け地域優良賃貸住宅制度へ支援を行いまちなかの定住人口の増加を図ります。

- ・市街地再開発事業への支援(中山下一丁目1番地区) 2億18百万円(12百万円)
- ・まちづくり研究会等への支援(駅元町11番地区、野田屋町一丁目2番・3番地区、駅前一丁目2番・3番地区、表町三丁目3番地区、表町三丁目15番地区) 11百万円(11百万円)
- ・高齢者向け地域優良賃貸住宅(サービス付き)制度 2百万円(1百万円)

笑顔あふれる中心市街地の創出

中心市街地活性化政策パッケージ

－ 回遊性の向上 －

- ・中心市街地全体への流れを
- ・「自動車優先から人優先のまち」へ

－ 魅力づくり －

- ・まちの魅力を上向きさせるため、市民の熱意や取り組みを支援
- ・歴史を知り、活用することで岡山の誇りを形成

■ **まちなかをめぐろう**

- ◆ 県庁通りぶらり歩き ※
- ◆ 西川緑道公園筋フリーウォーク ※
- ◆ 西川魅力にぎわいづくり
- ◆ 歩きやすいまちなか案内表示
- ◆ まちなか回遊アプリ

■ **自転車・公共交通に乗ろう**

- ◆ 「ももちやり」の拡充
- ◆ 駅前広場への路面電車乗り入れ調査・検討
- ◆ 自転車の走りやすい空間づくり

■ **魅力あふれる商店街**

- ◆ 商店街のやる気のあと押し
(商店街活性化支援事業)

■ **岡山の歴史や文化に触れる**

[岡山城・後楽園周辺]

- ◆ 城下町魅力めぐり ※
- ◆ お城とお庭のタイアップ

[まちなか]

- ◆ 岡山の歴史・文化に親しむ
- ◆ まちなか回遊ツアー
- ◆ 市民会館のあり方検討

■ **まちなかに住む**

- ◆ 快適な居住等の支援(市街地再開発事業)
- ◆ 高齢者も安心な居住への支援
(高齢者向け地域優良賃貸住宅(サービス付き))

● **岡山駅のバリアフリー化への支援** 新規 **1億円(1億円)**

JR西日本が行う岡山駅改札内の旅客地下道からホーム階までのエレベーター新設等によるバリアフリー化を支援し、利用者の利便性向上を図ります。

● **吉備線LRT化計画素案の策定** **20百万円(9百万円)**

JR西日本、総社市等と協議しつつ、技術面や採算性などの実現可能性の観点から検討を進め、「LRT化計画素案」を策定します。

● **中心市街地来訪者に対する回遊行動の調査・分析** 新規 **30百万円(30百万円)**

岡山駅東口周辺地区への来訪者の流れを調査し、まちなかの回遊行動の分析を行います。

● **岡山市交通基本計画の策定** 新規 **10百万円(5百万円)**

岡山市全域での交通課題を整理し、望ましい交通体系を計画する「交通基本計画」を策定するための調査を行います。

● **自転車先進都市おかやま事業** **7億65百万円(3億18百万円)**

温暖で雨が少なく、広大な平坦地を有する岡山の特性を活かし、自転車先進都市を目指す取組を推進します。

- ・自転車の走りやすい空間づくり(市役所筋、後樂園通り等) 2億61百万円(1億4百万円)
- ・駐輪場の整備 3億50百万円(89百万円)
北長瀬駅歩行者連絡通路・駐輪場整備、駅元町駐輪場測量設計業務など
- ・「ももちゃり」の拡充 78百万円(49百万円) 拡充
東口エリアにおけるサイクルポート及び自転車増設など
- ・自転車利用のルール遵守やマナー向上のための取組強化など 76百万円(76百万円)



② 人と自然が共生する持続可能な都市の構築

H26予算額()書きは一般財源

● 「ESDに関するユネスコ世界会議」の成功に向けた取組

と岡山モデルの発信 12億22百万円(7億43百万円)

「ESDに関するユネスコ世界会議」が本市で開催されることを契機に、将来世代のことを考えた行動ができる人の育成を核とする岡山ESDモデルを構築・発信し、ESD活動の一層の推進を目指します。

■ 世界会議推進事業 3億55百万円(3億41百万円)

世界会議の成功に向けて、会議の運営・支援体制の強化や世界会議のPR、おもてなし環境の充実を進めるとともに、国内外への岡山の魅力発信等を行います。

- ・世界会議の開催・運営支援 2億84百万円(2億73百万円)
ESD世界会議岡山支援実行委員会への支援、会議の開催・運営や情報の発信を行います。
- ・世界会議の周知・気運醸成 23百万円(20百万円) **拡充**
ESDリレーシンポジウムの開催、市立図書館全館のESD関連資料の整備充実や路面電車を利用したPRを行います。12百万円(9百万円)
「ESD&こどもエコフォーラム」への招聘を行います。11百万円(11百万円) **新規**
- ・おもてなし体制の強化・岡山の魅力の発信 48百万円(48百万円) **拡充**
外国語対応スタッフの配置、歩行者案内看板の更新、岡山駅・岡山空港を利用した瀬戸内海の魅力発信や情報サイトの充実を行います。

■ 地域におけるESD活動推進事業 8億67百万円(4億2百万円)

ESD活動に取り組む人や組織間の連携を支援する仕組みづくり、学校教育や社会教育等へのESDの理念の浸透を図ること等を通じて、岡山地域のESD活動を推進します。

- ・ESD市民活動推進事業 5百万円(5百万円) **新規**
ESDの普及や活動への参加を市民参画の元で促進させるためESD市民活動推進センター(仮称)を設立し、市民力を活用してボランティアの掘り起こしや社会貢献活動を推進します。
- ・教育・生涯学習分野へのESDの浸透 28百万円(28百万円) **拡充**
ユネスコスクールの実践を充実させる取組や加盟への支援、公民館でのESDに関する学習機会の提供などを行います。
- ・「ESD見える化」の推進 8億34百万円(3億69百万円)



「持続可能な社会づくり」に係る様々な分野の活動について、ESDの考え方を「見える化」しながら推進します。

○環境保全に係る学び

7百万円(6百万円)

- ・ESDカーボンオフセット推進事業 2百万円(2百万円) 新規
- ・3R普及啓発事業 1.2百万円(1.2百万円) 新規
- ・市内企業のESD活動推進事業 1百万円(1百万円) 新規
- ・ライトダウンキャンペーンの実施 0.8百万円(0.8百万円) など

○国際理解に係る学び

11百万円(2百万円)

- ・オリエント美術館での特別展と写真展 9百万円(1百万円)
- ・おかやまイングリッシュビレッジ事業 1百万円(1百万円)
- ・プロヴェディ市姉妹都市締結40周年記念事業 1.3百万円(0.4百万円) 新規
など

○地域活性化・まちづくりに係る学び

8億5百万円(3億58百万円)

- ・自転車先進都市おかやま事業(再掲) 7億65百万円(3億18百万円)
- ・歴史まちづくり回遊社会実験事業(再掲) 20百万円(20百万円)
- ・「エコ通り」推進事業 16百万円(16百万円) など

○その他活動に係る学び

11百万円(3百万円)

- ・「健康市民おかやま21(第2次)」の推進 8百万円(0百万円)
- ・憲法週間「市民のつどい」 2百万円(1.4百万円)
- ・郷土芸能育成事業 0.6百万円(0.6百万円) など

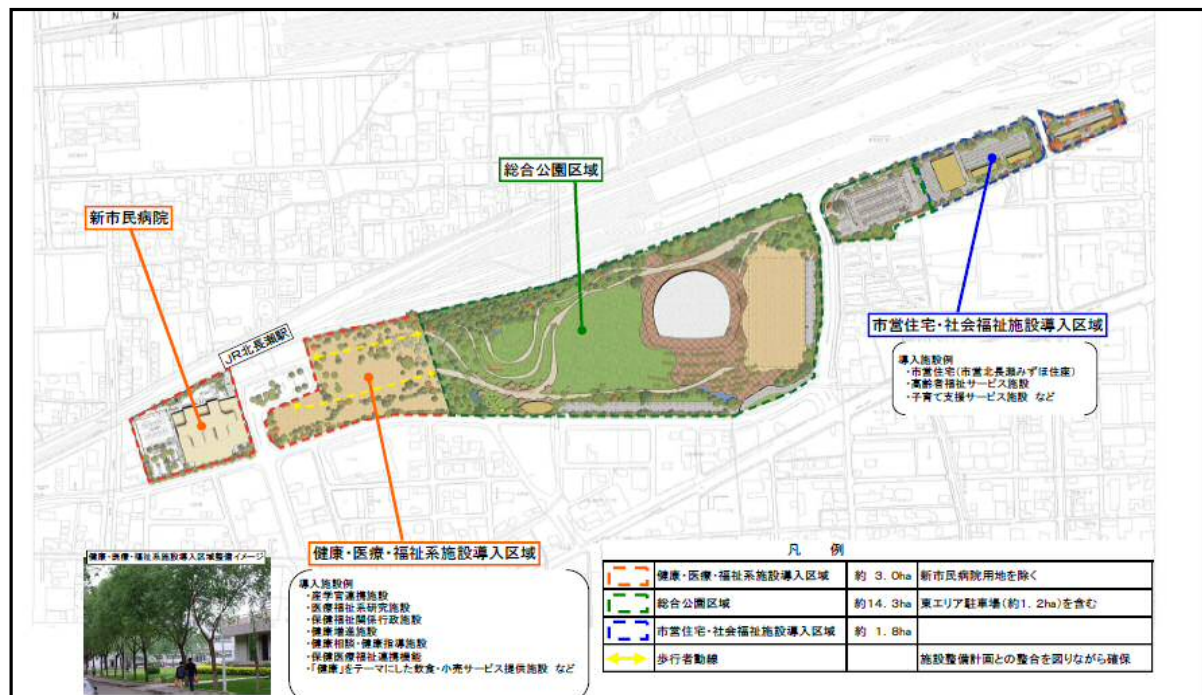
岡山市で開催される世界会議

☆ESD推進のための公民館-CLC会議	開催期日 平成26年10月9日～11日
公民館・CLC関係者が集い、社会教育におけるESDについて議論します。	
☆グローバルRCE会議	開催期日 平成26年11月4日～7日
「ESDの地域拠点」の関係者が集い、地域におけるESDについて議論します。	
☆ユネスコスクール世界大会	開催期日 平成26年11月6日～8日
高校生や教員が集い、学校教育について議論します。	
☆ユース・コンファレンス	開催期日 平成26年11月7日
18歳から35歳のESD実践者が集い、若者の立場からESD推進について議論します。	
☆教師教育に関する世界会議	開催期日 平成26年11月14日～17日
教育養成機関関係者が集い、教育機関におけるESD実践について議論します。	

● **岡山西部総合公園(仮称)の整備** 41億83百万円(13億23百万円)

「岡山操車場跡地整備基本計画」で交流・防災拠点ゾーンとして位置づけられた総合公園区域に、広域からも多くの人を訪れ、交流できるにぎわい空間として、また、大規模災害時には防災拠点としての機能も果たす「岡山西部総合公園(仮称)」を整備します。

・用地取得、実施設計を行います。



● **離島・中山間地域における地域住民活動応援事業** 新規

0.7百万円(0.7百万円)

離島や中山間地域において、地域課題の解決に向け地域住民自らが取り組む地域づくり活動を応援します。

● **健康みつ21公園(仮称)整備事業** 2億44百万円(20百万円)

豊かな自然を活かした健康づくりのための公園として多目的広場造成工事、また、これと併せて墓地造成工事を行います。

● **市街化調整区域内における地区計画運用指針等の運用** 新規

3百万円(3百万円)

市街化調整区域内の計画的な土地利用の実現を目指す「市街化調整区域の地区計画の運用指針」の運用を開始し、市街化区域における地区計画と併せて、住民主体のまちづくりを進めます。

● 地球温暖化対策への取組

18億95百万円(12億47百万円)

「地球温暖化対策実行計画」に基づき、市民生活や都市活動における環境負荷の低減を積極的に実践するため、市民・事業者・行政が目標を共有・協働して各種事業を推進します。

■ 再生可能エネルギーの利用促進 8億27百万円(6億44百万円)

- ・住宅用太陽光発電システム等の導入助成 3億46百万円(3億46百万円) 拡充
助成件数3,500件、助成対象10kW未満、助成額1kW当たり2万円(上限10万円)
- ・市有施設への計画的・効果的な太陽光発電システムの導入 3億4百万円(1億21百万円)
- ・岡山市立総合医療センターへの太陽光発電システム設置助成 1億71百万円(1億71百万円)
- ・市民共同発電事業 1,4百万円(1,4百万円) など

■ 省エネルギーの推進 2億46百万円(2億41百万円)

- ・住宅、事業所等への燃料電池等の省エネ設備の導入助成 21百万円(21百万円)
- ・LED防犯灯の設置普及 2億9百万円(2億3百万円)
町内会の取替・新設8,040灯への助成、市の取替・新設700灯
- ・エコ通り推進事業 16百万円(16百万円)(再掲)
桃太郎大通りの照明をLED化(36基)し、省エネルギー化を図るとともに経費を節減します。
- ・ライトダウンキャンペーン 0,8百万円(0,8百万円)(再掲)
各家庭や事業所で夏至(6/21)から七夕(7/7)にかけて、消灯という身近な取組ひとつで地球温暖化防止につながることを実感し、実践するキャンペーンを行います。

■ 電気自動車の普及促進 47百万円(37百万円)

- ・電気自動車の導入助成、充電設備の設置助成 18百万円(18百万円)
電気自動車150台(助成額10万円/台)、充電設備9台
- ・公用電気自動車の導入、市有施設への充電設備の設置等 29百万円(19百万円)

■ 自転車先進都市おかやま事業(再掲) 7億65百万円(3億18百万円)

■ 環境保全の推進 10百万円(7百万円)

- ・環境パートナーシップ事業 2百万円(2百万円)
清掃、緑化、落書き消去、自然保護を自主的に行う活動などを支援します。
- ・環境づくり支援事業 5百万円(2百万円)
ESDリレーシンポジウムの開催、水辺教室、自然環境教室などを行います。
- ・環境保全行動推進事業 3百万円(3百万円)

● **ごみ処理体制の強化**

10億82百万円(12百万円)

- ・ごみ処理広域化対策岡山ブロックにおける協議 12百万円(12百万円) **新規**
玉野市、久米南町とのごみ広域処理体制への移行に向け本格的な協議を開始します。
- ・岡南環境センター延命化事業 10億70百万円(0.1百万円)
ごみの広域処理体制に移行するまでの間、安全・安心で安定的なごみ処理体制と災害時における廃棄物の処理体制を確保するため、岡南環境センターの延命化を図ります。

● **リサイクルの推進**

19億97百万円(82百万円)

- ・西部リサイクルプラザ施設整備事業 19億61百万円(46百万円)



- ・小型家電リサイクル事業 6百万円(6百万円) **新規**
市有施設、家電小売店等に回収ボックスを設置する等、ビデオデッキ、パソコンなどの小型家電機器のリサイクルの推進を図ります。
- ・資源化物排出機会の拡大 30百万円(30百万円) **拡充**
西部リサイクルプラザの稼動に併せ、これまで月1回のビン、缶等の収集を月2回に拡充し、排出機会の拡大を行い、リサイクルの推進を図ります。



● **一宮浄化センター施設整備事業**

新規

45百万円(11百万円)

将来にわたり安定的なし尿処理を行うため、老朽化施設を更新するための設計等を行います。

③ 知・徳・体の調和のとれた自立する子どもの育成

H26予算額()書きは一般財源

● 学力の向上と心の育成 1億95百万円(1億55百万円)

保・幼・小・中の連携による連続性を大切に了一貫教育の推進、規範意識や向上心を備えた豊かな心の育成等を進めます。

- ・中学校区ではぐくむ！学力アップ事業 4百万円(4百万円)
本市の学力に関する課題「読解力」、「表現力」、「学ぶ意欲」などの解決に向けて、就学前教育から中等教育までの「学び」を連続させる体制づくりを大学等と連携し全中学校区で推進します。
- ・岡山っ子スタート・サポート事業 1億41百万円(1億1百万円) **拡充**
小学校1年生に対し、年間を通じて生活指導や学習指導に当たるため、教育支援員の配置を2学期末から学年末までに延長します。
- ・習熟度別サポート事業 43百万円(43百万円)
小学校2年生から6年生を対象に個々の学習意欲や学力に応じた習熟度別の少人数指導を行い、児童の学力の向上を図ります。
- ・はぐくむ心・あったかハート事業 2百万円(2百万円) **拡充**
道徳授業の充実や感動を体験する機会を増やし岡山っ子の「思いやりの心」、「ルールを守る意志」や「向上心」を高めていきます。
- ・教育に関する総合調査 5百万円(5百万円) **新規**
各学校園で個別に行っていたアンケートと全市共通の新たなアンケートを一体的に実施・分析することで、様々な教育課題の解決に向けた施策・事業の効果的な実施に役立てます。

● ストップ・ザ学校問題 1億40百万円(1億29百万円)

問題行動等の早期発見・早期対応の充実を図り、落ち着いた学校環境づくりを強化します。

- ・共に成長し合う学級集団づくり推進事業 48百万円(48百万円) **拡充**
児童生徒一人ひとりの学校への適応感をアンケートし、共通的な指標による分析を行うことで、学校に内在する諸課題を見出し、課題解決のための「学校づくり」に全校で取り組みます。
- ・スクールカウンセラー配置事業 35百万円(24百万円) **拡充**
学校問題の未然防止や早期解決に向けて小・中学校に配置する臨床心理士等の心の専門家について、早期の相談の充実を図るため、小学校への配置を増やします。
- ・いじめ専門相談員派遣事業 6百万円(6百万円) **新規**
臨床心理士を「いじめ専門相談員」として配置し、いじめ等で支援が必要なケースについて、当該児童生徒や保護者への支援や相談を行い問題の解決を図ります。
- ・不登校児童生徒支援員配置事業 41百万円(41百万円)
- ・学校問題解決サポート事業 10百万円(10百万円)



● 家庭教育支援事業 **新規** 1百万円(1百万円)

家庭教育の重要性の周知、アドバイザーによる地域や企業等での家庭教育に関する学習機会の支援などを行います。

④ 女性が輝き、安心して子育てできるまちづくり

H26予算額()書きは一般財源

● 女性が輝くまちづくり事業 新規 3百万円(3百万円)

女性の力が社会の中で最大限に発揮され、女性が輝くための取組を推進します。

- ・女性の活躍促進に向けた調査・研究 2.6百万円(2.6百万円)
- ・女性の活躍応援のためのセミナー 0.7百万円(0.7百万円)

● 子ども・子育て推進事業 5億91百万円(1億61百万円)

平成27年度から施行される子ども・子育て支援新制度に対応し、地域の実態に即した保育所、幼稚園、認定こども園による良質な就学前教育・保育を等しく提供できる子育て環境の構築を図ります。

- ・新制度の普及や制度実施に伴う準備 17百万円(17百万円)
- ・保留児童の解消と幼保一体化の推進 5億74百万円(1億44百万円)
幼稚園と保育園が隣接し、幼稚園に余裕教室がある園(岡南・中山・太伯・御津金川・灘崎)を対象に、必要な改修(給食調理室、渡り廊下、エアコンなどの整備)を行います。

● 保育士・保育所支援事業 新規 3百万円(1.5百万円)

保育士の確保を図るため、保育園・幼稚園課内に「保育士・保育所支援センター」を開設し、潜在保育士への研修、就職相談などを行います。

● 放課後児童クラブの充実 6億53百万円(3億67百万円)

平成27年度から、対象児童が小学校1～3年生から6年生に拡大されることに伴い、児童クラブの施設整備等を進め、放課後児童対策の拡大や質の向上を図ります。

- ・児童クラブ補助金 4億80百万円(3億23百万円)
- ・プレハブ室新・増築 1億41百万円(16百万円)
幡多・福田・彦崎小学校
- ・余裕教室改修 10百万円(7百万円) など

● 「風しん」対策事業 43百万円(36百万円)

「風しん」の蔓延防止のための普及、抗体検査やワクチン接種への助成を行います。

- ・風しん抗体検査事業 14百万円(7百万円) 新規
- ・風しんワクチン助成事業 29百万円(29百万円)

⑤ 医療の強みをいかしたまちづくり

H26予算額()書きは一般財源

● 保健・医療・福祉連携のシステムづくり 45百万円(41百万円)

市民が住み慣れた地域で最期まで安心して暮らすことができるように、保健・医療・福祉分野の連携強化や基盤づくりを進めます。

- ・(仮称)地域ケア総合推進センターのプレオープン 23百万円(23百万円) **新規**
平成27年度開院の新市民病院に設置する、予防・診療から介護までの総合的な相談や調整等を行う「(仮称)地域ケア総合推進センター」を本庁舎にプレオープンします。
- ・市内全域での多職種連携会議の開催など 4百万円(4百万円)
- ・訪問診療スタート支援事業、訪問看護プチ体験事業など 11百万円(7百万円) **拡充**
- ・岡山市認定在宅介護対応薬局認定研修事業 0.3百万円(0.3百万円) **拡充**
- ・身体・精神合併症救急連携モデル事業 7百万円(7百万円) **新規**
精神科医療機関と救急病院の連携を支援する全国初の事業を実施し、身体・精神合併症患者を受け入れる体制づくりを進めます。

● 総合特区の推進 1億16百万円(24百万円)

在宅に特化した総合特区を推進し、将来負担の抑制・産業振興・地域包括ケアの実現を目指すとともに、超高齢社会における持続可能な社会経済モデルの構築を進めます。

- ・デイサービス改善インセンティブ事業 11百万円(1百万円) **拡充**
デイサービス事業者の介護サービスの質を評価し、優れた事業者にインセンティブを付与することで、市域全体の質の向上を図ります。
- ・介護機器貸与モデル事業 87百万円(16百万円) **拡充**
在宅での生活を支援する最先端機器を本人負担1割で貸与します。平成25年度の3品目に続いて2品目を追加。
- ・介護予防ポイント事業 13百万円(2百万円) **拡充** など
高齢者や介護予防サポーターが行った介護予防への取組に応じてポイントを付与し、ポイントに応じて換金します。

● 医療福祉戦略の推進 42百万円(42百万円)

本市の豊富な医療・福祉資源や先進的な取組等を情報発信するとともに、産官学の連携を強化します。

- ・ERを支える体制づくり(岡山市寄付講座及び連携大学院の開設) 32百万円(32百万円)
- ・在宅のための生活リハビリテーション医工連携事業 7百万円(7百万円)
- ・医療・福祉資源の情報発信強化、シンポジウムの開催等 3百万円(3百万円) **拡充**

⑥ ともに支え合う健康・福祉のまちづくり

H26予算額()書きは一般財源

● がん総合対策推進事業 11億68百万円(9億50百万円)

働く女性へのがん検診受診の促進、企業との協働による乳がん検診の啓発や保険適用外となる禁煙治療への助成を新規に開始します。

- ・働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業 1億34百万円(67百万円) **拡充**
- ・ピンクリボンを活用した乳がん検診の普及啓発 0.6百万円(0.6百万円) **新規**
- ・禁煙治療費助成事業 2.4百万円(2.4百万円) **新規** など

● 歯と口腔の健康づくり条例関係事業 8百万円(5百万円)

歯と口腔の健康づくり条例に基づく「岡山市歯科保健基本計画」に沿った取組を進めます。

- ・入通所介護施設等への口腔ケア等導入支援事業 3百万円(1.5百万円) **新規**
- ・「嚙ミング30運動」による30回嚙むことの普及・啓発 1百万円(1百万円) **新規**
- ・子どもの歯の相談事業など 4百万円(2.7百万円)

● 生活保護の医療扶助の適正実施 **拡充** 32百万円(0百万円)

不適切な受診の防止やジェネリック医薬品の利用促進を図るとともに、受給者本人への健康増進指導を行い医療扶助の適正化を図ります。

- ・レセプトの点検・分析や保健指導を実施。

● 心身障害者福祉施設整備への助成 2億1百万円(7百万円)

生活介護施設など6件(7施設)の整備に助成し、心身障害者の福祉の向上を図ります。

● 消費増税に伴う臨時給付事業 **新規** 25億36百万円(0百万円)

消費税率等の引上げに伴う低所得者世帯や子育て世帯への影響を緩和するため臨時的な給付を行います。

- ・低所得者世帯への臨時福祉給付 17億33百万円(0百万円)
- ・子育て世帯への臨時特例給付 8億3百万円(0百万円)

● 認知症施策推進事業

13百万円(3百万円)

「岡山市における認知症施策の指針(岡山市版オレンジプラン)」に基づき、住み慣れた地域で暮らし続けることができるサポートシステムを構築します。

- ・認知症カフェ(仮称) 1.4百万円(0.3百万円) 新規
市内2箇所に本人、家族、地域の人が専門職員に気軽に相談できる支援の場を開設します。
- ・認知症サテライト相談、認知症介護講習 1百万円(0.2百万円) 新規
- ・認知症地域支援推進員の配置 8.3百万円(1.6百万円) など

● 犬島において介護サービスを提供する訪問介護事業者等に対する助成

新規 1.5百万円(1.5百万円)

犬島在住の要介護認定者に訪問介護・居宅介護支援等を提供する事業者に対して、渡船代及び駐車場代を助成します。

● 老人福祉施設整備への助成

11億72百万円(94百万円)

- ・地域密着型介護老人福祉施設の創設(4施設) 4億64百万円(0百万円)
- ・地域密着型介護老人福祉施設の開設準備(6施設) 1億4百万円(0百万円)
- ・特別養護老人ホームの改築(1施設) 3億4百万円(94百万円)
- ・養護老人ホームの整備(1施設) 3億円(0百万円)

● 生涯現役の社会づくり

新規

1.1百万円(1.1百万円)

超高齢社会の到来を見据え、働く意欲のある高齢者がこれまで培った能力や経験を活かし、生涯現役で活躍し続けられる仕組みづくりを進めます。

- ・有識者を交えた研究会等を行います。



⑦ 歴史と文化が薫る誇りと一体感の持てるまちづくり

H26予算額()書きは一般財源

● 岡山の歴史や文化に触れる(再掲) 85百万円(85百万円)

- ・城下町魅力めぐり(歴史まちづくり回遊社会実験事業) 20百万円(20百万円) **新規**
岡山城、旧内山下小学校跡地等を中心に公共空間、公共施設等の活用による新しい魅力創出につながる社会実験を行い、回遊性向上の効果を検証します。
- ・お城とお庭のタイアップ(岡山城・岡山後楽園・出石周辺魅力アップ事業) **拡充**
39百万円(39百万円)
県と連携した推進組織を立ち上げ、四季を通じた岡山城・岡山後楽園の魅力アップを図ります。
- ・岡山の歴史・文化に親しむ(岡山の歴史・文化に親しむ事業) **新規**
10百万円(10百万円)
旧城下町エリアに埋もれている歴史・文化資産を掘り起こすとともに、現地を紹介する案内板等の短期整備計画を策定し、市民や観光客が、歩いて楽しいまちづくりを行います。
- ・まちなか回遊ツアー(岡山城下町エリアを舞台としたまち歩き企画事業) **新規**
9百万円(9百万円)
岡山城下町エリアの歴史とまちの魅力を感じるまち歩き企画を行います。
- ・市民会館のあり方検討(新岡山市民会館等整備事業) 7百万円(7百万円)
老朽化した岡山市民会館・市民文化ホールの再整備に向けて、必要な機能や採算性、整備・運営の手法等について調査・研究し、基本構想を策定します。

● 吉備津彦神社本殿の屋根葺き替え **新規** 4百万円(4百万円)

前回の葺き替えから約40年が経過し老朽劣化が著しい県指定重要文化財、吉備津彦神社本殿屋根の葺き替えに岡山県と連携して助成します。

● おかやまマラソン(仮称)開催への準備 23百万円(23百万円)

平成27年秋に岡山県と共同で中四国最大規模のフルマラソン大会を実施するための準備委員会事務局を設置し、大会に向けた取組を促進します。

● 岡山市競技力強化事業 7百万円(7百万円)

平成28年度全国高等学校総合体育大会や東京2020オリンピックへの出場が期待される世代の選手強化メニューを新たに導入します。

- ・オリンピック出場選手を外部指導者として招き市内有望選手を強化 1百万円(1百万円) **新規**
- ・インターハイターゲットエイジ強化事業 1百万円(1百万円) **新規** など

力強さ

⑧ 活力とにぎわいのある国内外に開かれたまちづくり

H26予算額()書きは一般財源

● 企業誘致ターゲット等の拡充 1.5百万円(1.5百万円)

中四国の結節点としての本市の優位性を活かし、産業の発展や雇用の安定化を図るため誘致対象を企業の本社・広域拠点にも拡大します。

・企業立地フェアへの出展や企業アンケートの実施など

新規

本社・中四国支店等立地推進事業補助金制度の創設

拡充

企業立地促進奨励金制度に増設時も人材確保奨励金制度を導入

● 商店街活性化支援事業(再掲) 27百万円(27百万円)

新規

● 販路拡張助成事業 12百万円(12百万円)

拡充

市内中小企業者が販路拡張のために行う国内外の展示会・見本市への出展を支援します。

● 中小企業経営基盤強化事業 17百万円(17百万円)

拡充

円安による原材料費の高騰などから小規模事業者経営改善資金(マル経融資)の利子助成制度を1年延長します。

・マル経融資利子補給制度の延長 5百万円(5百万円) など

● 求人開拓事業 4百万円(4百万円)

新規

大学生が希望する就職先の職種・業種の調査と中小企業側が求める求人の調査を行いマッチングを図ります。

● **国際観光の推進** 拡充 **20百万円(20百万円)**

海外プロモーションやESD世界会議により増加が予想される外国人観光客等へのおもてなし体制の強化を図ります。

- ・岡山駅・岡山空港への広告掲出、ももたろう観光センターへの外国語スタッフの配置など

● **たけべ八幡温泉郷の再整備** **5億20百万円(26百万円)**

建部町温泉宿泊研修センターと建部町温泉会館を統合して整備する(仮称)たけべ八幡温泉の開業(平成27年春予定)に向けて整備を進めます。



● **コンベンションシティの体制整備** 拡充 **32百万円(11百万円)**

「岡山市コンベンション戦略プラン」に沿ったコンベンション開催地としての魅力の向上と発信に官民で取り組み積極的なコンベンション誘致を行います。

● **海外MICE等誘致戦略** **15百万円(15百万円)**

岡山の魅力を海外でプロモーションし、知名度や認知度を向上させ、観光客やコンベンション誘致につなげます。

- ・海外でのプロモーション、諸外国での情報媒体の活用など 10百万円(10百万円) 拡充
- ・外国人宿泊助成制度の拡充 5百万円(5百万円) 拡充

※MICE(マイス)

会議(Meeting)、研修旅行(Incentive Travel)、団体、学会等が行う会議(Convention)、展示会・見本市(Exhibition)の頭文字、多くの集客や交流が見込まれるイベントを意味します。

● **移住・定住の支援** **19百万円(19百万円)**

移住相談会等での課題やニーズに対応し、移住相談者への相談体制の充実や情報提供の強化を促進します。

- ・官・民連携の移住相談会の開催等 3.4百万円(3.4百万円) 拡充
- ・移住・定住情報の発信・PR 13百万円(13百万円) 拡充
- ・移住下見ツアー 1.4百万円(1.4百万円) 新規
- ・市営住宅改修(3戸) 1.6百万円(1.6百万円)

● **安全で安心な食の提供(地産地消の推進)** **8百万円(7.4百万円)**

「産直市」の開催や生産者・農産物の紹介などに加え、農業者による農作業体験支援、農業者と販売業者等とのマッチング、新商品の開発支援などを行います。

- ・教育ファーム事業 0.6百万円(0百万円) **新規**
- ・農業者と販売業者等とのマッチングイベント 2百万円(2百万円) **新規** など

● **果物・野菜生産の担い手の確保・育成とブランド化の推進**

2億16百万円(14百万円)

生産技術高度化施設や認定農業者の農業機械の導入へ助成を行い、農産物の安定供給と収益力の強化を行い、力強い農業づくりを支援します。

- ・青年就農給付金 51百万円(0百万円)
- ・農業経営体の育成支援 8百万円(0百万円)
- ・首都圏、関西圏で開催される農業フェアへの出展支援 1.6百万円(1.6百万円) **新規**
- ・生産技術高度化施設整備等への助成 1億34百万円(0百万円) など

● **イノシシなどの有害鳥獣への対策** **35百万円(28百万円)**

有害鳥獣による被害を全市民の共通課題として取り組み被害の防止を図ります。

- ・有害鳥獣捕獲等補助金 27百万円(20百万円) **拡充**
イノシシ、ヌートリアに加えてシカも補助対象とするとともに、被害防止施設整備への助成を拡充します。
- ・有害鳥獣対策の啓発 8百万円(8百万円) **拡充**
各地域における駆除・防除の支援を担う人材の養成や有害鳥獣の生態、防除方法を記したパンフレットを作成、配布します。



安全・安心

⑨ 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり

H26予算額()書きは一般財源

● 災害に強い安全・安心なまちづくり 222億25百万円(82億44百万円)

想定不能な天災への対策としてソフト・ハード両面を強化し、市民の安全・安心を守る各種事業を計画的に実施します。

■ 防災拠点の整備 15億90百万円(1億85百万円)

- ・東・中区役所への一時避難所等の整備 1億47百万円(0.1百万円)
- ・東消防署の整備 3億90百万円(68百万円)
- ・北消防署の整備 9億85百万円(1億円)
- ・消防団分団機庫の整備(御野・生石・芳田) 68百万円(17百万円)

■ 情報の収集・伝達体制等の整備 4億9百万円(4億9百万円)

- ・緊急告知FMラジオの配備 11百万円(11百万円)
- ・情報通信網の確保・保有情報の分散化など 3億98百万円(3億98百万円)

■ 市民が主体的に取り組む防災対策への支援 3億19百万円(1億90百万円)

市民一人ひとりが主体的に防災対策に取り組む環境を整備するとともに、自助・共助による地域住民の協力体制を確立する取組を支援します。

- ・実践的防災教育総合支援事業 2百万円(0百万円)
- ・防災キャンプ推進事業 3百万円(3百万円)
- ・災害時要援護者の避難支援 6百万円(6百万円)
- ・自主防災会育成推進事業 8百万円(8百万円)
- ・総合防災訓練・水防訓練の実施 6百万円(6百万円)
- ・災害対応備蓄物資の配備 69百万円(69百万円)
- ・水害防止対策資機材の配備 31百万円(31百万円) **拡充**
- ・住宅・建築物耐震改修等補助事業 1億75百万円(48百万円) **一部新規**



など

■ ライフライン・都市基盤の強化 111億86百万円(61億72百万円)

上・下水道施設の耐震化、橋りょうの耐震化や長寿命化、治水対策、高潮対策などライフライン・都市基盤を強化します。

■ 市有建築物耐震化への取組

76億78百万円(12億35百万円)

全国的に見ても遅れている学校園の耐震改修は、平成29年度までに全棟の耐震化を完了させ、安全・安心な教育環境と地域住民の避難拠点を確保します。

(単位:百万円)

施設区分	実施内容	平成26年度		平成25年度		増 減	
		棟数	予算額	棟数	予算額	棟数	予算額
学校園	改修・改築	99	7,240	73	2,775	26	4,465
市営住宅	改修	11	25	5	13	6	12
保育園	改修	3	64	2	7	1	57
児童館	改修	2	3	0	0	2	3
公民館	改修	28	39	3	9	25	30
コミュニティハウス	改修	12	19	0	0	12	19
その他施設	改修	25	281	34	129	△ 9	152
市役所本庁舎	手法検討	1	7	1	6	0	1
合 計		181	7,678	118	2,939	63	4,739

■ 下水道による浸水対策事業

10億43百万円(53百万円)

集中豪雨等による浸水被害を軽減するため、既存施設を活用した雨水排水能力の向上を図るとともに、広範囲で浸水の恐れのある地域では、浸水対策に関する事業計画を作成します。

- 浦安ポンプ場及び当新田ポンプ場雨水ポンプ増設等 9億93百万円(3百万円)
- 浸水対策に関する事業計画の作成等 50百万円(50百万円)

● 斎場整備事業

4億21百万円(1億13百万円)

老朽化に伴う東山斎場の建替えと火葬需要の増加や災害時のリスク分散を図る観点から新斎場を整備します。

- ・東山斎場再整備事業 3億49百万円(41百万円)
- ・新斎場整備事業 72百万円(72百万円)

● 空き家再生(リフォーム)活用促進モデル事業

新規

30百万円(30百万円)

防災、防犯、衛生環境等に悪影響を及ぼす可能性のある「空き家問題」に対応するため、空き家の改修経費の一部を助成します。

⑩ パートナーシップによる持続可能な都市づくり

H26予算額()書きは一般財源

● 市民協働推進モデル事業提案制度 8百万円(8百万円)

複雑・多様化した地域社会の課題に、NPO等との協働により効果的、効率的な市民サービスの提供を目指すモデル事業を行います。

- ・NPO提案型事業への助成 6百万円(6百万円) 拡充
- ・行政提案型事業への助成 2百万円(2百万円) 拡充

● 市民サービス拠点の整備 20億27百万円(2億95百万円)

市域の拡大に伴う市民サービス提供体制の適正化や老朽化が進む関係施設の更新時期に合わせた簡素で合理的な市民サービス拠点の体制整備を行います。

- ・東区役所・東消防署・東水道センターの整備 11億65百万円(1億88百万円)(一部再掲)
- ・中区役所の整備 5億28百万円(49百万円)
- ・操山地区公民館建設事業 5百万円(5百万円)
中央公民館が所在する福祉文化会館の廃止に伴い、操山地区に新たに公民館を整備するための基本構想を策定します。
- ・吉備公民館・吉備地域センターの整備 3億22百万円(46百万円)
- ・本庁舎耐震化推進事業 7百万円(7百万円)(再掲)
市役所本庁舎の耐震化対策について、手法や工程等を含め、様々な検討を行います。

● 社会保障・税番号制度への対応 新規 1億19百万円(37百万円)

社会保障・税番号制度の円滑な導入に向けてシステム改修などを行います。

● 公共施設マネジメント事業の推進 新規 79百万円(79百万円)

市有施設の長寿命化、トータルコストの縮減・平準化、安全・安心かつ効率的・効果的な市民サービスの提供体制の実現に向けて、市有施設のあり方を検討するため、市有施設の保全状況の調査等を行います。



5. 「社会保障と税の一体改革」の影響

● 消費税率の引上げに伴う使用料等の改定

6. 8億円の影響

平成26年4月からの消費税率等の引上げに伴い、料金、使用料等に増税分の転嫁を行います。

・消費増税による影響額

会計区分	影響額	備考
水道会計	3億92百万円	水道料金他
下水道会計	2億42百万円	下水道使用料他
一般会計	25百万円	施設使用料他
その他会計	20百万円	施設使用料他
合計	6億79百万円	



● 社会保障財源の増収額及び使途

平成26年4月からの消費税率等の引上げに伴う増収分は、国・地方とも全て社会保障の充実と安定化に使われます。

区分	現行	H26.4.1以降	増加率	備考
消費税	4.0%	6.3%	2.3%	国増収見込額 約4.3兆円
地方消費税	1.0%	1.7%	0.7%	地方増収見込額 約0.7兆円
合計	5.0%	8.0%	3.0%	国・地方増収見込額 約5.0兆円

■ 岡山市の増収額及びその使途

○ 増収額

区分	平成26年度増収見込額	平年度ベース
地方消費税交付金	945百万円	約46億円

○ 使途

(単位:百万円)

区分	事業費	財源		
		特定財源	一般財源	
			社会保障財源化分の 地方消費税交付金	その他
社会福祉費	37,450	15,346	368	21,736
老人福祉費	10,506	2,213	129	8,164
児童福祉費	41,059	21,863	236	18,960
生活保護費	24,230	17,573	94	6,563
保健衛生費	8,087	1,058	118	6,911
合計	121,332	58,053	945	62,334

(注) 地方消費税交付金の充当は、国制度にあわせた下記「社会保障の充実(経費)」に充当し、残りを各費目で按分して算出。

社会保障の充実経費

- 保育緊急確保事業 1億42百万円
- 国民健康保険の低所得者保険料軽減措置の拡充等 97百万円
- 後期高齢者医療保険の低所得者保険料軽減措置の拡充 14百万円
- 認知症対策等連携等事業 0.5百万円

6. 平成26年度当初予算(案)における市長重点査定一覧

－ 「予算編成過程の見える化」の試行 －

(単位:百万円)

No.	事業名	H26予算	H25予算	頁
1	笑顔があふれる中心市街地の創出	852	699	8
2	「ESDに関するユネスコ世界会議」の成功に向けた取組と岡山モデルの発信	1,222	593	11
3	岡山っ子スタート・サポート事業	141	92	16
4	いじめ専門相談員派遣事業	6	0	16
5	女性が輝くまちづくり事業	3	0	17
6	保健・医療・福祉連携のシステムづくり	45	14	18
7	総合特区の推進	116	0	18
8	認知症施策推進事業	13	10	20
9	岡山の歴史や文化に触れる (歴史まちづくり回遊社会実験事業ほか)	85	44	21
10	企業誘致ターゲット等の拡充	2	0	22
11	中小企業経営基盤強化事業	16	10	22
12	学校園耐震化事業	7,240	2,775	26
13	下水道による浸水対策事業	1,043	372	26
14	空き家再生(リフォーム)活用促進モデル事業	30	0	26
合 計		10,729	4,565	

(注)No.9は再掲のため合計には含まない。

※市長重点査定

市長重点査定とは、市長自ら事業量も含め重点的に査定した事業

一般会計歳入・歳出

■ 歳 入

(単位:千円)

款 別	26年度当初 A	25年度当初 B	差 引 増 減		構 成 比 (%)	
			増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B	26年度 当 初	25年度 当 初
市税	111,034,330	108,574,870	2,459,460	2.3	39.6	40.2
地方譲与税	2,665,000	2,716,000	△ 51,000	△ 1.9	1.0	1.0
利子割交付金	276,000	291,000	△ 15,000	△ 5.2	0.1	0.1
配当割交付金	467,000	315,000	152,000	48.3	0.2	0.1
株式等譲渡所得割交付金	42,000	19,000	23,000	121.1	0.0	0.0
地方消費税交付金	8,121,000	6,907,000	1,214,000	17.6	2.9	2.6
ゴルフ場利用税交付金	132,000	146,000	△ 14,000	△ 9.6	0.0	0.1
自動車取得税交付金	338,000	742,000	△ 404,000	△ 54.4	0.1	0.3
軽油引取税交付金	4,977,000	4,850,000	127,000	2.6	1.8	1.8
国有提供施設交付金	79,000	85,000	△ 6,000	△ 7.1	0.0	0.0
地方特例交付金	377,000	398,000	△ 21,000	△ 5.3	0.1	0.2
地方交付税	23,900,000	28,900,000	△ 5,000,000	△ 17.3	8.5	10.7
交通安全対策特別交付金	396,000	396,000	0	0.0	0.1	0.1
分担金及び負担金	4,731,784	4,487,164	244,620	5.5	1.7	1.7
使用料及び手数料	5,901,685	5,644,536	257,149	4.6	2.1	2.1
国庫支出金	51,053,796	45,156,736	5,897,060	13.1	18.2	16.7
県支出金	10,950,233	11,001,559	△ 51,326	△ 0.5	3.9	4.1
財産収入	562,779	532,156	30,623	5.8	0.2	0.2
寄附金	21,790	21,720	70	0.3	0.0	0.0
繰入金	6,478,261	5,247,385	1,230,876	23.5	2.3	1.9
繰越金	300,000	300,000	0	0.0	0.1	0.1
諸収入	2,814,601	4,704,912	△ 1,890,311	△ 40.2	1.0	1.7
市債	45,108,000	38,694,000	6,414,000	16.6	16.1	14.3
合 計	280,727,259	270,130,038	10,597,221	3.9	100.0	100.0

■ 歳 出

(単位:千円)

款 別	26年度当初 A	25年度当初 B	差 引 増 減		構 成 比 (%)	
			増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B	26年度 当 初	25年度 当 初
議会費	1,241,655	1,220,519	21,136	1.7	0.4	0.5
総務費	20,734,926	21,939,484	△ 1,204,558	△ 5.5	7.4	8.1
民生費	113,249,635	107,924,107	5,325,528	4.9	40.3	40.0
衛生費	26,025,821	29,666,940	△ 3,641,119	△ 12.3	9.3	11.0
労働費	236,352	305,924	△ 69,572	△ 22.7	0.1	0.1
農林水産業費	6,091,236	6,390,425	△ 299,189	△ 4.7	2.2	2.4
商工費	1,965,037	1,653,826	311,211	18.8	0.7	0.6
土木費	43,306,359	36,864,888	6,441,471	17.5	15.4	13.6
消防費	8,714,794	7,589,495	1,125,299	14.8	3.1	2.8
教育費	24,381,112	20,588,946	3,792,166	18.4	8.7	7.6
災害復旧費	—	—	0	0.0	0.0	0.0
公債費	34,580,332	35,785,484	△ 1,205,152	△ 3.4	12.3	13.2
予備費	200,000	200,000	0	0.0	0.1	0.1
合 計	280,727,259	270,130,038	10,597,221	3.9	100.0	100.0

特別会計

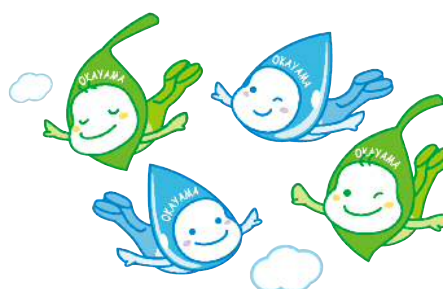
(単位:千円)

会 計 別	26年度当初 A	25年度当初 B	差 引 増 減	
			増減額 A-B	増減率(% (A-B)/B
国民健康保険費	74,771,900	73,918,319	853,581	1.2
用品調達費	40,000	41,814	△ 1,814	△ 4.3
住宅新築資金等貸付事業費	33,901	39,139	△ 5,238	△ 13.4
災害遺児教育年金事業費	13,676	14,390	△ 714	△ 5.0
公共用地取得事業費	717,554	411,256	306,298	74.5
財産区費	8,395	6,068	2,327	38.3
学童校外事故共済事業費	13,129	13,040	89	0.7
母子寡婦福祉資金貸付事業費	153,450	149,749	3,701	2.5
駅元町地区市街地再開発事業費	442,980	447,932	△ 4,952	△ 1.1
介護保険費	56,188,361	53,557,497	2,630,864	4.9
後期高齢者医療費	7,785,159	7,351,254	433,905	5.9
公債費	36,027,595	37,140,399	△ 1,112,804	△ 3.0
岡山市立総合医療センター病院事業債	12,683,472	—	12,683,472	皆増
合 計	188,879,572	173,090,857	15,788,715	9.1

事業会計

(単位:千円)

会 計 別	26年度当初 A	25年度当初 B	差 引 増 減	
			増減額 A-B	増減率(% (A-B)/B
病院事業会計	55,761	56,580	△ 819	△ 1.4
地方独立行政法人移行準備病院会計	—	18,904,120	△ 18,904,120	皆減
水道事業会計	24,740,000	22,859,000	1,881,000	8.2
工業用水道事業会計	298,000	293,000	5,000	1.7
市場事業会計	1,037,310	1,030,879	6,431	0.6
下水道事業会計	44,989,807	40,893,608	4,096,199	10.0
合 計	71,120,878	84,037,187	△ 12,916,309	△ 15.4



予算性質別経費

■ 一般会計

(単位:百万円)

区 分	26年度当初		25年度当初		増減額 A - B	伸び率(%) (A-B)/B	
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)			
義務的経費	人件費	44,923	16.0	46,029	17.0	△ 1,106	△ 2.4
	扶助費	74,932	26.7	71,724	26.6	3,208	4.5
	公債費	34,543	12.3	35,748	13.2	△ 1,205	△ 3.4
	計	154,398	55.0	153,501	56.8	897	0.6
投資的経費	普通建設事業費	46,059	16.4	33,216	12.3	12,843	38.7
	補助事業費	20,440	7.3	13,294	4.9	7,146	53.8
	単独事業費	23,325	8.3	18,335	6.8	4,990	27.2
	国直轄事業負担金	2,294	0.8	1,587	0.6	707	44.5
	災害復旧事業費	—	—	—	—	0	0.0
計	46,059	16.4	33,216	12.3	12,843	38.7	
その他の経費	物件費	31,400	11.2	29,807	11.0	1,593	5.3
	維持補修費	3,847	1.4	3,750	1.4	97	2.6
	補助費等	18,747	6.7	24,850	9.2	△ 6,103	△ 24.6
	繰出金	23,445	8.3	22,678	8.4	767	3.4
	投資及び出資金	2,248	0.8	1,803	0.7	445	24.7
	その他	583	0.2	525	0.2	58	11.0
計	80,270	28.6	83,413	30.9	△ 3,143	△ 3.8	
合 計	280,727	100.0	270,130	100.0	10,597	3.9	

■ 普通会計

(単位:百万円)

区 分	26年度当初		25年度当初		増減額 A - B	伸び率(%) (A-B)/B	
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)			
義務的経費	人件費	44,927	15.2	46,032	17.0	△ 1,105	△ 2.4
	扶助費	74,938	25.5	71,730	26.5	3,208	4.5
	公債費	35,871	12.2	35,981	13.3	△ 110	△ 0.3
	計	155,736	52.9	153,743	56.8	1,993	1.3
投資的経費	普通建設事業費	46,759	15.9	33,023	12.2	13,736	41.6
	補助事業費	20,440	6.9	13,294	4.9	7,146	53.8
	単独事業費	24,025	8.2	18,142	6.7	5,883	32.4
	国直轄事業負担金	2,294	0.8	1,587	0.6	707	44.5
	災害復旧事業費	—	—	—	—	0	0.0
計	46,759	15.9	33,023	12.2	13,736	41.6	
その他の経費	物件費	31,408	10.7	29,815	11.0	1,593	5.3
	維持補修費	3,847	1.3	3,750	1.4	97	2.6
	補助費等	18,761	6.4	24,864	9.2	△ 6,103	△ 24.5
	繰出金	23,216	7.9	22,743	8.4	473	2.1
	貸付金	11,870	4.0	304	0.1	11,566	3,804.6
	その他	2,727	0.9	2,206	0.9	521	23.6
計	91,829	31.2	83,682	31.0	8,147	9.7	
合 計	294,324	100.0	270,448	100.0	23,876	8.8	

基金及び地方債現在高の状況

■ 基金の状況

(単位:百万円)

区 分	24年度末 残 高	25 年 度 中 見 込		25年度末 残高見込	26 年 度 中 見 込		26年度 当初後 残高見込
		積立金	取崩額		積立金	当 初 取 崩 額	
財政調整基金	18,751	3,166	3,500	18,417	64	3,680	14,801
市債調整基金	1,374	9	—	1,383	8	—	1,391
合 計	20,125	3,175	3,500	19,800	72	3,680	16,192
公共施設等整備基金	7,262	28	1,000	6,290	27	2,000	4,317

(注1) 平成25年度の財政調整基金の積立金には、平成24年度決算剰余金の積み立て3,100百万円を含む

(注2) 市債調整基金は、満期一括償還地方債の元金償還に係る積立額及び取崩額を除いたもの

■ 地方債残高の状況

(単位:百万円)

区 分	24年度末 残 高	25 年 度 中 見 込		25年度末 残高見込	26 年 度 中 見 込		26年度 当初後 残高見込
		元 金 償 還 金	借 入 額		元 金 償 還 金	当 初 借 入 額	
一般会計	(173,976)	(21,937)	(23,380)	(175,419)	(21,204)	(23,108)	(177,323)
	274,152	31,389	43,903	286,666	30,316	45,108	301,458
特別会計	4,105	318	—	3,787	1,194	11,585	19,921
小 計	278,257	31,707	43,903	290,453	31,510	56,693	321,379
事業会計	276,313	16,778	15,495	275,030	16,279	11,723	264,319
合 計	554,570	48,485	59,398	565,483	47,789	68,416	585,698
(再掲)普通会計	(175,846)	(22,130)	(23,380)	(177,096)	(22,274)	(34,693)	(195,259)
	276,054	31,588	43,903	288,369	31,391	56,693	319,414

(注1) 「25年度中見込」の「借入額」欄は、平成24年度からの繰越事業分を含む

(注2) ()内は、減税補てん債、臨時財政対策債等100%交付税算入される起債を除いたもの

(注3) 元金償還金は、満期一括償還地方債の償還財源に充てるため市債調整基金に積み立てた額を含み、基金から繰入れて満期一括償還した額は除く

